

平成31年4月時点

体育学研究科博士後期課程体育学専攻担当教員研究領域等一覧

【専任教員】

① 研究指導担当教員

| 区分       | 氏名(職名)        | 担当授業科目   | 研究領域   |
|----------|---------------|--|--|
| 研究指導担当教員 | 赤嶺卓哉<br>(教授)  | ・スポーツ・リハビリテーション<br>医科学特殊研究<br>・スポーツ・リハビリテーション<br>医科学特殊研究演習   | スポーツ医科学における整形外科的疾患の予防と運動療法について特殊に研究する。<br>腰痛・リウマチ関節疾患、骨粗鬆症例へのリハビリテーション法(水中運動を含む)、身障者スポーツ、運動と骨代謝について考究する。<br>筋硬度(柔軟度)・体組成測定、スポーツ選手の骨密度測定結果比較分析、PNFリハビリ・トレーニングなどについてもさらに攻究する。  |
|          | 荻田太<br>(教授)   | ・スポーツ生理学特殊研究<br>・スポーツ生理学特殊研究演習<br>・体力科学特殊研究【TSC】<br>・体力科学特殊研究演習【TSC】   | スポーツ活動時の有酸素性・無酸素性エネルギー供給動態を定量化しながら代謝特性を明らかにすると同時に、エネルギー供給能力を効果的に改善させる短時間高強度運動トレーニング法、および特殊環境下を利用したトレーニングの開発について探求している。また、競技スポーツでは特に水泳運動に関して、流水プール、抵抗測定装置などを利用し、生理学的・力学的定量化を試みている。研究近年では低圧低酸素環境下を利用したメタボリックシンドローム予防・改善のための研究にも取り組んでいる。さらに、エネルギー代謝と呼吸循環系応答の関連についても併せて検討している。 |
|          | 高橋仁大<br>(准教授) | ・コーチング学特殊研究<br>・コーチング学特殊研究演習   | スポーツにおける戦略・戦術分析のためのゲーム分析ならびにPerformance Analysisを行っている。特に映像を用いた分析ならびにフィードバック手法、またゲーム分析を基にしたゲーム評価に関する研究を進めている。これらの研究が実験室的研究で終わることなく、スポーツの実践場面に貢献できるような、フィールドでの実践的活動も重点的に行う。   |
|          | 田巻弘之<br>(教授)  | ・体力科学特殊研究<br>・体力科学特殊研究演習<br>・体力科学特殊研究【TSC】<br>・体力科学特殊研究演習【TSC】   | 疲労及び筋持久力の改善に関する神経-筋系の制御機構や、運動刺激が筋・骨格系の組織細胞の形態や機能に及ぼす影響に関する領域をテーマとしている。また加齢や不動によって骨や骨格筋がどのように萎縮するのか、どのような運動・トレーニングで防止できるのか等について組織・細胞を各種顕微鏡で観察して解明しようとしている。  |
|          | 中垣内真樹<br>(教授) | ・ヘルスサイエンス特殊研究<br>・ヘルスサイエンス特殊研究演習   | 中高齢者を対象として健康づくり、介護予防のための運動の実践方法やその効果について研究している。地域での効果的な運動の普及を目指して運動プログラムを作成し、実際に地域等で実践指導をしてその効果を検証しながら運動の有用性や意義を明らかにする。  |
|          | 藤井康成<br>(教授)  | ・スポーツ医科学特殊研究<br>・スポーツ医科学特殊研究演習   | スポーツ医科学における整形外科的疾患の予防と運動療法について、特に肩・肘の上肢、膝・足の下肢関節のスポーツ障害を中心に、その病態や治療法、予防法に関して研究を行う。スポーツ選手の身体機能を評価するメディカルチェックを通して、体の柔軟性やアライメントの評価法から障害予防のためのトレーニング法などについても研究をすすめる。   |
|          | 前田明<br>(教授)   | ・体育・スポーツの学際的科学論Ⅱ【KR】<br>・スポーツバイオメカニクス特殊研究<br>・スポーツバイオメカニクス<br>特殊研究演習<br>・スポーツバイオメカニクス<br>特殊研究【TSC】<br>・スポーツバイオメカニクス<br>特殊研究演習【TSC】 | 運動技術の習得を力学的に得るためにモーションキャプチャーシステム、ハイスピードカメラ、フォースプレート等を用いてバイオメカニクスの動作を分析する。競技力向上に関するトレーニング効果をバイオメカニクスの見地から考察する。  |
|          | 森司朗<br>(教授)   | ・体育・スポーツの学際的科学論Ⅰ【KR】<br>・スポーツ心理学特殊研究<br>・スポーツ心理学特殊研究演習<br>・スポーツ心理学特殊研究【TSC】<br>・スポーツ心理学特殊研究演習【TSC】                                 | 1) 幼少年期の心身両面からの運動発達<br>2) 運動認知メカニズムや運動学習のプロセスなどの理論的な研究及びメンタルトレーニングや認知トレーニングへの応用<br>3) コミュニティ心理学的アプローチを通して自閉症児の治療教育などの実践的研究<br>4) 脳内神経連絡経路などの基礎研究<br>以上の4つの方向から主に研究を行っている。  |

| 区分                   | 氏名(職名)        | 担当授業科目  | 研究領域  |
|----------------------|---------------|---|---|
| 研究<br>指導<br>担当<br>教員 | 山田理恵<br>(教授)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育・スポーツの学際的科学論Ⅱ【KR】</li> <li>・スポーツ史特殊研究</li> <li>・スポーツ史特殊研究演習</li> <li>・スポーツ歴史人類学特殊研究【TSC】</li> <li>・スポーツ歴史人類学<br/>特殊研究演習【TSC】</li> </ul> | 人間の「身体」や「身体運動」とそれらをめぐる諸現象について、歴史的考察を行っている。特に伝統スポーツに着目し、ドイツと日本の場合を中心に、それぞれの伝統的なスポーツ文化にみられる特性や文化変容の過程について考察している。  |
|                      | 山本正嘉<br>(教授)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング科学特殊研究</li> <li>・トレーニング科学特殊研究演習</li> <li>・トレーニング科学特殊研究【TSC】</li> <li>・トレーニング科学特殊研究演習【TSC】</li> </ul>                                | スポーツパフォーマンスの制限要因となる瞬発力、持久力、疲労、回復能力などを改善するためのトレーニングやコンディショニング法に関する実践的な研究。各種スポーツにおける専門体力やパフォーマンスの測定と評価に関する研究。低酸素(高所)環境を利用したトレーニングの研究。登山やクライミングなど、アウトドアスポーツの運動生理とトレーニングに関する研究。                       |
|                      | 高井洋平<br>(准教授) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育・スポーツの学際的科学論Ⅰ【KR】</li> <li>・トレーニング科学特殊研究</li> <li>・トレーニング科学特殊研究演習</li> <li>・トレーニング科学特殊研究【TSC】</li> <li>・トレーニング科学特殊研究演習【TSC】</li> </ul>  | 発育期の子ども、高齢者およびスポーツ選手を対象に、身体組成、筋機能および運動能力におけるトレーナビリティに関する研究を、運動生理学およびバイオメカニクス的手法を用いて行っている。   |
|                      | 藤田英二<br>(准教授) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動処方論特殊研究</li> <li>・運動処方論特殊研究演習</li> </ul>  | アスレティックトレーナーの専門領域であるアスレティックトレーニング、および高齢者の健康づくりについて研究を行っている。アスレティックトレーニングでは、特にスポーツによる外傷および障害予防に関するフィジカルコンディショニングや、そのトレーニング法に関して取り組んでいる。高齢者の健康づくりでは、健常高齢者から低体力の虚弱者まで幅広い層を対象とした運動の手法とその効果について研究している。 |

## ② 授業担当教員

| 区分                         | 氏名(職名)        | 担当授業科目   | 研究領域   |
|----------------------------|---------------|--|--|
| 授<br>業<br>担<br>当<br>教<br>員 | 金高宏文<br>(教授)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーチング学特殊研究【TSC】</li> <li>・コーチング学特殊研究演習【TSC】</li> </ul>   | スポーツ運動における「技能の習得」や「動作の改善」時に生じる「コツ・カン」や「フォーム」の変化について調査・測定している。現在は、各スポーツ種目における初心・初級者のコツや技術、その指導・トレーニング方法を探求している。専門はスポーツ運動学及びトレーニング学で、スポーツバイオメカニクスと指導者育成・再研修のカリキュラム論についても取り組んでいる。 |
|                            | 竹下俊一<br>(教授)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育・スポーツの学際的科学論Ⅰ【KR】</li> <li>・スポーツ経営学特殊研究</li> <li>・スポーツ経営学特殊研究演習</li> <li>・スポーツ経営学特殊研究【TSC】</li> <li>・スポーツ経営学特殊研究演習【TSC】</li> </ul> | スポーツに関するビジネスやスポーツ施設産業特にゴルフ場経営に関わった産業を研究分野としている。また人文社会科学の研究手法論をベースに体育の専門とは何かというテーマの研究も続けている。  |
|                            | 安田修<br>(教授)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ医科学特殊研究</li> <li>・スポーツ医科学特殊研究演習</li> </ul>   | ミトコンドリアは生体のエネルギーの殆ど全てを生産し、生体の活動性や老化を左右する重要な細胞内小器官である。運動や骨格筋量がミトコンドリア機能に与える影響に関しての生物化学的な研究に取り組んでいる。また骨格筋量が生体の心臓、腎臓の機能や老化に与える影響について血液パラメーターや分子生物学的手法を用いた研究を行っている。                |
|                            | 中本浩揮<br>(准教授) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育・スポーツの学際的科学論Ⅰ【KR】</li> <li>・スポーツ心理学特殊研究</li> <li>・スポーツ心理学特殊研究演習</li> </ul>   | スポーツの熟達化をテーマとし、優れた競技者の視覚システムおよび予測能力と運動修正能力といった知覚・認知技能の特徴やその獲得方法について、心理物理学、生理心理学的手法を用いて研究を行っている。  |
|                            | 萩原悟一<br>(准教授) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ経営学特殊研究</li> <li>・スポーツ経営学特殊研究演習</li> <li>・スポーツ経営学特殊研究【TSC】</li> <li>・スポーツ経営学特殊研究演習【TSC】</li> </ul>                               | 「多くの人々にスポーツに傾倒(する・みる・支える)してもらうためにはどうすればよいのか」を主なテーマに行動科学や社会心理学の理論的背景を援用しながら、その行動プロセスを読み解くことを研究している。また、欧米と日本の国際比較から、わが国のスポーツ実施者の特性を明らかにすることを研究している。                              |

|  |              |  |  |
|--|--------------|--|--|
|  | 與谷謙吾<br>(講師) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力科学特殊研究</li> <li>・体力科学特殊研究演習</li> <li>・体力科学特殊研究【TSC】</li> <li>・体力科学特殊研究演習【TSC】</li> </ul> | 外部刺激に対する身体の反応パフォーマンスについて、時間的側面(反応時間)から中枢(神経系)や末梢(筋系)の時間要素に区分して評価し、各系でのトレーナビリティ等について研究を行っている。 |
|--|--------------|--|--|

【非常勤講師】

③ 授業のみを担当する教員

| 区分          | 氏名(職名)           | 担当授業科目   |
|-------------|------------------|--|
| 授業のみを担当する教員 | 川原貴<br>(非常勤講師)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスリート医科学特殊研究【JISS】</li> <li>・アスリート医科学特殊研究演習【JISS】</li> </ul>   |
|             | 真田久<br>(非常勤講師)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ歴史人類学特殊研究【TSC】</li> <li>・スポーツ歴史人類学特殊研究演習【TSC】</li> </ul>   |
|             | 鈴木志保子<br>(非常勤講師) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ栄養学特殊研究</li> <li>・スポーツ栄養学特殊研究演習</li> <li>・スポーツ栄養学特殊研究【TSC】</li> <li>・スポーツ栄養学特殊研究演習【TSC】</li> </ul> |
|             | 宮地力<br>(非常勤講師)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ情報特殊研究【JISS】</li> <li>・スポーツ情報特殊研究演習【JISS】</li> </ul>   |
|             | 宮地元彦<br>(非常勤講師)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯スポーツ学特殊研究【TSC】</li> <li>・生涯スポーツ学特殊研究演習【TSC】</li> </ul>   |

【連携大学院(JISS)】

① 授業担当教員

| 区分     | 氏名(職名)         | 担当授業科目   | 研究領域  |
|--------|----------------|--|---|
| 授業担当教員 | 奥脇透<br>(客員教授)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスリート医科学特殊研究【JISS】</li> <li>・アスリート医科学特殊研究演習【JISS】</li> </ul>             | さまざまなスポーツ外傷・障害の病態を解明するため、その受傷状況(とくに動作)、症状、画像診断(とくにMRI)、復帰過程(メディカル、およびアスレティックリハビリテーション)等を詳細に分析している。最終的には、それぞれのスポーツ外傷・障害の病態を明らかにすることにより、その予防に向けて取り組む研究を行っている。 |
|        | 高橋英幸<br>(客員教授) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスリート・トレーニング科学特殊研究【JISS】</li> <li>・アスリート・トレーニング科学特殊研究演習【JISS】</li> </ul> | アスリートが高い競技パフォーマンスを発揮するために必要となる能力、トレーニングおよびコンディショニングに関する研究を行っている。特に、磁気共鳴映像法(MRI)や磁気共鳴分光法(MRS)を用い、運動の源である骨格筋の特性とその可塑性の視点からのアプローチを行っている。                       |

【連携大学院(熊本大学、鹿児島大学、宮崎大学)】

① 研究指導担当教員

| 区分    | 氏名(職名)         | 担当授業科目   | 研究領域  |
|-------|----------------|--|---|
| 研究指導担 | 飯干明<br>(特任教授)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育・スポーツの学際的科学論Ⅰ【KR】</li> <li>・体育・スポーツの学際的科学論Ⅱ【KR】</li> <li>・身体教育特殊研究B【KR】</li> <li>・身体教育特殊研究演習B【KR】</li> </ul> | 高齢者の転倒など日常生活における事故の防止や学校教育での事故の防止、さらには短距離選手の肉離れの防止などに関する研究を行ってきた。最近では、体力の各要素が日常生活の活性化だけでなく、寿命にも影響を及ぼすことが明らかになり、体力が再認識されているので、児童・生徒や大学生を対象にした体力に関する研究を行っている。 |
|       | 井福裕俊<br>(客員教授) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育・スポーツの学際的科学論Ⅱ【KR】</li> <li>・身体教育特殊研究A【KR】</li> <li>・身体教育特殊研究演習A【KR】</li> </ul>                               | 生理学・運動生理学の観点から、1)運動や自律神経刺激に対する心臓・循環システムの調節メカニズムの解明、2)運動や自律神経刺激に対するアスリートの循環応答パターンの特徴、および3)運動トレーニングに対する生体適応現象の解明を主として行っている。                                   |

|  |                 |  |  |
|--|-----------------|--|--|
|  | 小澤雄二<br>(客員准教授) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育・スポーツの学際的科学論 I 【KR】</li> <li>・身体教育特殊研究 A 【KR】</li> <li>・身体教育特殊研究演習 A 【KR】</li> </ul> | 1) 尿中および血中成分の変動を指標とした武道のトレーニング特性の検討 2) 安全で効果的な武道の指導のための用具の研究・開発 3) 柔道の授業のための実践的指導プログラムの研究・開発 以上の3つの方向から主に研究を行っている。 |
|--|-----------------|--|--|

## ② 授業担当教員

| 区分     | 氏名(職名)          | 担当授業科目  | 研究領域   |
|--------|-----------------|---|--|
| 授業担当教員 | 松永智<br>(客員教授)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育・スポーツの学際的科学論 II 【KR】</li> <li>・身体教育特殊研究 B 【KR】</li> <li>・身体教育特殊研究演習 B 【KR】</li> </ul> | 運動に伴う骨格筋の機能減退メカニズムの解明について、筋細胞内のカルシウムのシグナリングに焦点を合わせ、運動生理学および生化学的に研究を行っている。また栄養学的手法を用いて、活動性疲労に由来する筋機能減退の緩和メカニズムに硝酸塩をはじめとした各種栄養素が寄与するかについても併せて検討を行っている。 |
|        | 齋藤和也<br>(客員准教授) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育・スポーツの学際的科学論 I 【KR】</li> <li>・身体教育特殊研究 A 【KR】</li> <li>・身体教育特殊研究演習 A 【KR】</li> </ul>  | 中枢における感覚運動統合の神経機構について、1) 水棲動物(ヤツメウナギ、メダカ)の中脳視蓋を主な対象とした電気生理学的研究、2) ヒトの咀嚼・嚥下運動を対象とした臨床神経生理学的研究を行っている。また空気呼吸魚(タウナギ)を対象として運動の模倣に係る神経基盤についても研究を行っている。     |
|        | 坂本将基<br>(客員准教授) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育・スポーツの学際的科学論 II 【KR】</li> <li>・身体教育特殊研究 A 【KR】</li> <li>・身体教育特殊研究演習 A 【KR】</li> </ul> | これまでは、ヒトが運動のイメージを行っているときの脳活動について、神経生理学的手法を用いて調べてきた。現在は、主観的な身体の状態と客観的なそれとの間で誤差が生じる現象に着目し、この現象とアスリートの競技特性との関わりについて検討している。                              |

## ③ 授業のみを担当する教員

| 区分          | 氏名(職名)         | 担当授業科目  |
|-------------|----------------|---|
| 授業のみを担当する教員 | 徳田修司<br>(特任教授) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育・スポーツの学際的科学論 I 【KR】</li> <li>・体育・スポーツの学際的科学論 II 【KR】</li> </ul> |